

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

【「読むこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

あめだまは、もう一つしかありませんでした。
 「あたしにちょうだい。」「あたしにちょうだい。」
 ふたりの子どもは、りょうほうからせがみました。あめだまは一つしかないので、お母さんはこまってしまいました。
 「いい子たちだから待っておいで、向こうへついたら買ってあげるからね。」
 と言って聞かせても、子どもたちは、ちょうだいよ、ちょうだいよ、とだだをこねました。いねむりをしていたはずのさむらいは、ぱっちり目をあけて、子どもたちがせがむのを見ていました。お母さんは、おどろきました。いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない、と思いました。
 「おとなしくしておいで。」
 と、お母さんは子どもたちをなだめました。けれど、子どもたちはききませんでした。すると、さむらいが、すらりと刀をぬいて、お母さんと子どもたちのまえにやってきました。お母さんは、まさおになって、子どもたちをかばいました。いねむりのじゃまをした子どもたちを、さむらいがきりころすと思ったのです。
 「あめだまを出せ。」
 とさむらいはいいました。
 お母さんは、おそろおそろあめだまをさしだしました。さむらいは、それをふねのへりにのせ、刀でぱちんと二つにわりました。そして、
 「そおれ。」
 と二人の子どもに分けてやりました。

(出典 新美南吉 「飴だま」)

(1) どうして、お母さんは子どもたちをなだめたのですか。

レベル6

- 1 子どもたちにあめだまをあげたかったから。
- 2 さむらいが、いねむりをじゃまされたのでおこっていると思ったから。
- 3 さむらいが、あめだまを刀でぱちんと二つにわったから。
- 4 子どもたちがあそびたいといったから。

(2) 何を二人の子どもに分けたのですか。四字で書きましょう。

レベル7



復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【「読むこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

あめだまは、もう一つしかありませんでした。
 「あたしにちょうだい。」「あたしにちょうだい。」
 ふたりの子どもは、りょうほうからせがみました。あめだまは一つしかないので、お母さんはこまってしまうました。

「いい子たちだから待っておいで、向こうへついたら買ってあげるからね。」
 と言って聞かせても、子どもたちは、ちょうだいよ、ちょうだいよ、とだだをこねました。いねむりをしていたはずのさむらいは、ぱっちり目をあけて、子どもたちがせがむのを見ていました。お母さんは、おどろきました。いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない、と思いました。

「おとなしくしておいで。」
 と、お母さんは子どもたちをなだめました。けれど、子どもたちはききませんでした。すると、さむらいが、すらりと刀をぬいて、お母さんと子どもたちのまえにやってきました。お母さんは、まっさおになって、子どもたちをかばいました。いねむりのじゃまをした子どもたちを、さむらいがきりころすと思ったのです。
 「あめだまを出せ。」
 とさむらいはいいました。
 お母さんは、おそろおそろあめだまをさしだしました。さむらいは、それをふねのへりにのせ、刀でぱちんと二つにわりました。そして、
 「そおれ。」

と二人の子どもに分けてやりました。(出典 新美南吉 「飴だま」)

(1) どうして、お母さんは子どもたちをなだめたのですか。

レベル6

- 1 子どもたちにあめだまをあげたかったから。
- 2 さむらいが、いねむりをじゃまされたのでおこっていると思ったから。
- 3 さむらいが、あめだまを刀でぱちんと二つにわったから。
- 4 子どもたちがあそびたいといったから。

2

「おとなしくしておいで。」と、なぜ、お母さんが子どもたちをなだめたのかは、直前の文「いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない」に着目して考えます。



(2) 何を二人の子どもに分けたのですか。四字で書きましょう。

レベル7

あ
め
だ
ま

さむらいが、刀で二つにわったものが、何かを読み取ります。
直前の「それをふねのへりにのせ」の「それ」が指し示している言葉を
さがします。